

女子7人制ラグビー あすから五輪アジア予選東京大会

桑井 必ずリオへ

幕別出身



東京大会を前に練習で汗を流す桑井亜乃。五輪出場権獲得へサクラセブンスの主力として期待が掛かる (大賀章好撮影)

帯農高陸上部出身の逸材

女子7人制ラグビーのリオデジャネイロ五輪アジア予選東京大会が28、29の両日、東京・秩父宮ラグビー場で行われる。香港大会(7、8日・香港)で優勝し、優位な位置に立つ日本は、ホームでの大一番に向けて仕上がりが良好。主力として期待が掛かる幕別町出身の桑井亜乃(26)＝埼玉・八木橋＝立正天大学院、中京大、帯農高出＝は「必ず五輪を決める」と気合を込めている。(松村智裕)

大会には日本、カザフス、2、4位のチームは来年のタン、香港、中国、スリラ、世界最終予選に回る。ンカ、グアムの6チームが、日本は香港大会での優勝出場。総当たりの1次リーグで6勝を獲得しており、今大会では優位な立場から戦う。総当たりの1次リーグで6勝を獲得しており、今大会では優位な立場から戦う。総当たりの1次リーグで6勝を獲得しており、今大会では優位な立場から戦う。

ふれる試合展開が特徴。7分ハーフ(決勝は10分ハーフ)で行われ、今回は各チームが1日に3試合を戦う。

■第1日・28日	中国	対 日本	10時
午前10時	対 日本	11時2分	
午後1時2分	対 日本	2時4分	
午後2時4分	対 日本	4時	
■第2日・29日	スリランカ	対 日本	10時
午前10時	対 日本	11時24分	
午後1時24分	対 日本	2時47分	
午後2時47分	対 日本	4時15分	
午後4時15分	対 日本	決勝	

初戦の相手は香港大会で唯一黒星を喫した難敵の中国(同大会では4位の3勝獲得)。桑井は「7人制ラグビーは時間が短いので最初がカギ。ホームで戦える地の利を生かして、先制点を取って一気に勝利したい」とスタートダッシュへ意気込んでいる。

171センチ 67キロ、スクラムの軸 「思い切りぶつかる」

やセットプレーの軸となる。香港大会では激しいタックルを繰り返す、左目元に大きな青あざをつくったが「もう大丈夫。私の役目はタックルなので次も思い切りぶつかっていく」と意に介さない。浅見敬子ヘッドコーチは「1対1で大柄な外国人選手と互角に戦える。他の日本人ではなかなかいない」と高く評価している。

スクラセブンスが男子に続く五輪切符獲得に挑む。桑井は「香港大会で優勝したことで自信が付いた。油断はなく、チームも私も集中している。東京でも優勝して、五輪に行きます」と強い決意を込める。帯農高2年時には国体の円盤投げで5位に入るなど陸上選手として活躍。中京大4年まで投てき競技を続け、2012年4月に「ラガール(女子ラグビー選手)へ転身した。埼玉県のデパート勤務。現在は埼玉真熊谷市のデパートに勤務しながら、地元クラブチーム・アルカス熊谷に所属している。日本代表では最も背の高い身長171センチ、67キロと恵まれた体で、主にFWとしてプレー。スクラム